

## 2020年度決算概況について

北海道労働金庫の2020年度(令和2年度)決算について、6月22日開催予定の当金庫第38回総会で報告いたしますので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

2020年度決算については、前年度との比較で減収減益となりました。

当金庫は、ご利用いただく皆様のお役に立てるサービスの提供を行えるよう、引き続き健全経営に努めてまいります。

### 記

#### 1. 調達・運用の状況

(単位：百万円・%)

		2020年度(A)	2019年度(B)	前年比(A-B)	計画(C)	計画比(A-C)
預 金 (含 譲渡性)	期末残高	1,054,731	1,005,983	48,748	1,010,381	44,350
	期中平残	1,049,123	1,009,652	39,471	1,019,878	29,245
	期中利回	0.03	0.04	△ 0.00	0.03	△ 0.00
貸 出 金	期末残高	759,648	743,669	15,978	753,702	5,946
	期中平残	752,017	727,876	24,141	747,557	4,460
	期中利回	1.50	1.55	△ 0.05	1.52	△ 0.01
有価証券	期末残高	103,019	85,331	17,688	106,171	△ 3,151
	期中平残	94,568	75,710	18,858	96,175	△ 1,606
	期中利回	0.43	0.50	△ 0.07	0.45	△ 0.02
預 貸 率	期末残高	72.02	73.92	△ 1.90	74.59	△ 2.57
	期中平残	71.68	72.09	△ 0.41	73.29	△ 1.61
預 証 率	期末残高	9.76	8.48	1.28	10.50	△ 0.74
	期中平残	9.01	7.49	1.51	9.43	△ 0.41

#### (1) 預 金

預金残高は、個人預金における退職金獲得の成果などにより、前年比 487 億 48 百万円増加(増加率 4.84%)して 1 兆 547 億 31 百万円となりました。

#### (2) 貸 出 金

貸出金残高は、個人融資における住宅ローンの新規獲得の成果などにより、前年比 159 億 78 百万円増加(同 2.14%)して 7,596 億 48 百万円となりました。

かわらず、よりそって。

(3) 有価証券

有価証券残高は、前年比 176 億 88 百万円増加(同 20.73%)して 1,030 億 19 百万円となりました。

2. 損益の状況

(単位：百万円)

	2020 年度 (A)	2019 年度 (B)	前年比 (A-B)	計画 (C)	計画比 (A-C)
経常収益	14,194	14,451	△ 257	14,145	49
経常費用	12,405	12,706	△ 301	12,675	△ 269
経常利益	1,789	1,745	44	1,470	318
実質業務純益	1,895	1,742	153	1,586	308
コア業務純益	1,916	1,739	176	1,586	329
特別利益	49	203	△ 153	35	14
特別損失	72	35	37	19	52
税引前当期純利益	1,766	1,912	△ 146	1,485	280
当期純利益	1,194	1,442	△ 247	1,053	141

- (1) 経常収益は、資金運用収益において有価証券などの余裕金利息が減少したこと、住宅ローンに係る取扱手数料や団信社員配当金が減少したことなどにより、前年比 2 億 57 百万円減少(同△1.77%)して 141 億 94 百万円となりました。
- (2) 経常費用は、労働金庫業態のオンライン業務を担う共同センターである総合事務センターに関する経費の減少や、コロナ禍による物件費の未執行などにより、前年比 3 億 1 百万円減少(同△2.37%)して 124 億 5 百万円となりました。
- (3) よって、経常利益は前年比 44 百万円増加(同 2.54%)して 17 億 89 百万円となり、また実質業務純益は前年比 1 億 53 百万円増加(同 8.78%)して 18 億 95 百万円となりました。
- (4) 特別利益は、前年比 1 億 53 百万円減少(同△75.73%)して 49 百万円となりました。  
主な要因は、前年度は職員の退職金制度の改定(確定拠出年金への一部移行)に伴う利益計上等があったことによるものです。
- (5) 特別損失は、固定資産の減損損失計上額の増加により、前年比 37 百万円増加(同 106.00%)して 72 百万円となりました。
- (6) これらの結果、当期純利益は前年比 2 億 47 百万円減少(同△17.18%)して 11 億 94 百万円となりました。

かわらず、よりそって。



### 3. 主要利回り・諸比率等

(単位：％)

	2020年度(A)	2019年度(B)	前年比(A-B)	計画(C)	計画比(A-C)
コア業務純益 ROA	0.17	0.16	0.01	0.14	0.02
税引前当期純利益 ROA	0.15	0.17	△ 0.01	0.13	0.02
OHR(業務粗利益経費率)	82.60	84.40	△ 1.80	85.52	△ 2.92
自己資本比率	8.69	8.68	0.01	8.50	0.19

※ 総会で剰余金処分(案)が決議された場合の数値です。

(1) 収益性を示す指標である ROA(税引前当期純利益 ROA)は、税引前当期純利益の減少により、前年比 0.01 ポイント悪化しました。

また、効率性を示す指標である OHR は、経費の減少等により、前年比 1.80 ポイント改善しました。

(2) 自己資本比率は、自己資本額の増加影響が、貸出金や有価証券の積上げ等によるリスクアセットの増加影響を上回ったことにより、前年比で 0.01 ポイント上昇し、8.69%となりました。

以 上

かわらず、よりそって。

